



# The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算2861回 第11例会  
2015年9月18日  
毎週金曜日

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

2015 - 2016年度 R | 会長  
K.R. "ラビ" ラビンドラン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎@2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎@6665 ☎@6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>

[E-mail] [hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp](mailto:hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp)

2015-2016年度 人吉ロータリークラブテーマ

ロータリーの贈り物を届けよう

— 先ずは自分自身に  
そして周りの人達に —

## 本日の進行 (目次)

会長の時間 P1  
幹事報告 P2  
出席率報告・会務報告・増強認証ピン贈呈 P2  
地区米山セミナー報告(石蔵会員) P2~3  
Rの友9月号紹介(安方会員) P3  
新会員卓話(内藤会員) P3~6  
ニコニコ箱.R財.米山カード P6

点 鐘

延岡研一 会長

歌 唱

ソングリーダー 石蔵尚之 委員長

国 歌「君が代」

R S「それでこそロータリー」

司会・進行

宮原和広 プログラム委員

## 会長の時間

会長 延岡研一



何の話かは言いませんが、なんかもう芽茶苦茶です。

「めちゃくちゃ」を漢字で書くと、「めちゃ」は、滅亡の滅や人の目を

当てていますが、実は植物の新芽の芽にお茶なんです。「くちゃ」は苦いお茶です。無い茶で「無茶苦茶」とも言いますが。「芽茶」とは新芽のお茶で、最初はぬるめのお湯で甘さを楽しむもの、二番煎じで少し熱めのお湯でタンニンの持つ渋さを味わう、そして三番煎じで熱湯を注ぎ、カフェインの持つほろ苦さを味わう、のだそうです。高山さん、そういうことで良しとしておいてください。

つまり「芽茶苦茶」とは、「芽茶にいきなり熱湯をかけて、甘さも渋さも苦さもごっちゃになってデタラメで苦々しい味になる。」というのが語源です。

ちなみに、「あの人はまだまだ甘いねえ」「派手さはないけど、渋いねえ」「苦み走った男」なんて言葉も語源は、このお茶の言葉に由来しているのです。

今日も芽茶苦茶は続いているようですが、今日の朝刊、朝日新聞の「天声人語」と読売新聞の「編集手帳」を紹介して会長の時間とします。

9月18日掲載

朝日新聞 天声人語

読売新聞 編集手帳

本日の出席率			
会 員 数	64名	<b>73.77%</b>	
出 席 免 除	5名	9 / 4 出席率	66.67%
欠 席 者 数	16名	補 填 数	20名
出 席 者 数	45名	修 正 出 席 率	100%

\*届け出欠席 村山・岩井・有村・中村・堤正・浅野・齊藤  
青木・岩本・葉山・漆野・尾上・小林清  
大賀・新堀・田上

\*出席免除会員 (b) 増田, 愛甲, 高山(出席), 丸尾(出席)  
釜田

\*メイクアップ

地区管理運営セナー; 原田・漆野・葉山

クラブ会報. ココ箱. 出席合同家庭集会; 山田・板井

地区職業奉仕セナー; 水野・本田

青少年育成. ローター外合同家庭集会; 中島・原田・安達

伊久美・大久保・武末・馬場・井手・平田

R財. 米山合同家庭集会; 小林祐・小林清・堤正・葉山

## 会務報告

### 【親睦委員会】

委員長 原田知一郎

来週の例会は夜に変更して「月見例会」を開催します。18日(金)までに出席の返事をお願いします。

9月25日(金) 18時30分～

例会場所: ひまわり亭

会 費: 3千円

### 【会員組織増強委員会】



『新会員推薦者のための認証プログラム』新会員の勧誘に貢献したとして、国際ロータリーより北昌二郎会員に認証ピンが届きました。

### 【米山記念奨学委員会】

国際ロータリー第2720地区

米山記念奨学会セミナー報告

石蔵尚之会員



国際ロータリー第2720地区の熊本県内クラブを対象とする2015～16年度「米山奨学セミナー」は、9月6日(日)午前10時から熊本市中央区黒髪の熊本市男女共同参画センター「はあもにい」多目的ホールで開かれました。

当日は朝から豪雨に見舞われ、高速道路は視界不良という悪天候の中、約130人が参加。当クラブからは、本田副会長、水野幹事、そして私の3人が参加し、今年度の運営方針などを学んで参りました。野田ガバナーの点鐘の後、秋吉部門長が奨学金の目的や奨学金の

## 幹事報告

幹事 水野虎彦



### 【連絡事項】

- ・地区ローターアクト代表より2720地区ローターアクト第31回年次大会本登録の案内  
11月21日・22日の土日、別府国際コンベンションセンターにて開催  
大会テーマ「～発～ 発見・発信・発揮」  
基調講演は野田三郎ガバナー  
詳しくはローターアクト委員会平田委員長へ
- ・地区ガバナー事務所より2014～2015小山年度地区資金決算報告書。詳しくお知りになりたい方は事務局へ保管しております。
- ・人吉オープンゴルフ大会実行委員会より第8回の同大会の協賛依頼。協賛金は第2回の被選理事会にて承認の金額で支出
- ・人吉保健所より熊本県人吉球磨地域廃棄物不法投棄対策連絡会議開催の案内  
10月20日(火)午後2時～地域振興局大会議室  
環境保全委員会大賀委員長へ

### 【回覧物】

- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」
- ・指宿RC週報・玉名中央RC週報

### 【例会の変更・取り止め】

熊本西RC10/6→観月例会の為18:30～

〃 10/13→例会取り止め

指宿RC9/22→例会取り止め

種類、選考基準と方法などについて説明されました。また、財源である寄付金の現状については、特別寄付がゼロというクラブが昨年度は16クラブであったことなどを踏まえ、協力を求められました。ちなみに、個人平均の寄付額で見ると2720地区は全国34地区の中で25位となっております。また、普通寄付と特別寄付の合計額で当クラブをみると県内8位、地区内10位となっております、手前みそになりますが貢献度は高いと再認識したところです。

今年度の大きな事業のひとつは、学友会の設立ということでした。学友会とは財団学友を卒業した奨学生による組織であり、お世話になったロータリアンに少しでも恩返しをしたいとの思いから設立されるものです。現在、2720地区と2700地区を含めた「九州学友会」がありますが、奨学生を身近に支えてきた世話クラブやカウンセラーとの距離をもっと縮めようと、2720地区に独立して設立される予定です。来年2月の設立総会を目指しているとのことでした。

最後に、今年度の奨学生が7人登壇し、自己紹介。ロータリアンへの感謝、勉学の楽しさが伝わってきました。中でも印象に残った学友は、中国から熊本大学に留学中の黄訳民（コウ・エキミン）さんです。四川省の少数民族であり、2008年の四川大地震の被災地でもあります。考古学を学んでおられ、発掘されたものは文献よりも嘘や偏見がない素の歴史がわかる学問だといいます。そして、日本の習慣や礼儀に接する中で本当の日本の国民性が見えてきたといいます。人間同士の日中友好と平和を実現させたいとの強い信念を感じさせるものでした。2年ぶりに参加となりましたが、日本と世界の懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となる人材育成を図ることが奨学金の目的であり再確認しました。

## 【雑誌委員会】

### ロータリーの友9月号紹介

雑誌委員 安方 晃



- 横組み表紙「豊穰」（秋を感じる美しい棚田）、縦組み表紙「もみじ引き」もみじの木を神輿代りに引いて無病息災を願う、めずらしい祭りに外国人も参加
- P3RI会長メッセージ「ロータリーグローバルワードで賢く働く」
- ロータリーの友創刊25周年記念  
創刊された昭和28年、尽力されたロータリアン4名がその頃を振り返った座談会のようすです。
- 「ロータリー希望の風奨学金」広がりを見せる活動の輪

## ○ロータリー米山記念奨学会の基礎知識

寄付金・財政編として、前年度の収支決算と寄付金の状況が報告されています。

以上ですが、この5連休で友をよく読み、次の機会にはもっと深く紹介できるようにしたいと思います。

## 【プログラム委員会】

### 新入会員卓話

内藤靖雄会員

2015年3月13日入会

職業分類；青果物集荷販売

[人吉連合青果㈱]



本日は卓話の御指名を賜りありがとうございます。

青果物流通において、一般消費者とは離れた存在なので、言葉的には市場とは知っていても何をやっているのか分からない方が多いと思います。そこで青

果市場の事を簡単にご紹介し、市場の歴史と、青果卸売市場が行っている「競り取引」を歴史上有名な題材を取り上げて紹介させていただきます。

### 卸売市場について

#### 卸売市場とは？

卸売市場とは、卸売市場法という法律に基づいて管理運営されております。

卸売市場法は、「卸売市場を整備促進し、適正かつ健全な運営を確保することにより、生鮮食料品の取引の適正化とその生産物流通の円滑化を図り、もって国民の安定に資することを目的とする。」となっております。

#### 卸売市場が行うこと

集分荷（主に受託販売）

品揃え

価格形成（せり売り・相対売り）

決済

情報の提供

#### せり売りについて

生鮮品のせり売りが法的に許可されているのも卸売市場でもあります。

仲卸業者や売買参加者など多数の買い手に対して、せり人が卸売場の公開の場において、出荷者より委託された物品を販売する方法です。せり売りの価格の決定方法は、多数の買い手の中からその物品に対して最高値を

付けたものの価格が反映されるようになっていきます。

## ルール

下見をしておくこと

出荷者名、数量等競りを行う分を読み上げて競り開始となる

最高値を三回セリ人が呼び上げた時に落札の権利が発生

## セリ人

商品・再生産単価・景気・天候・祭事等を総合判断し、単価の判断を行う

## 買受人

商品・自身の販売力・入荷動向を総合判断し、セリに参加

後程歴史上有名な「競り取引」の題材の話を書きますが、ルール、競り人、買受人のこの内容が骨格となりますので、再度申し上げますがルール…、競り人…、買受人…の内容をご記憶願いたいと思います。

## 卸売市場の歴史

卸売市場の誕生は、どのくらい歴史を遡るとお思いでしょうか？ 実は約400年前の歴史的な出来事がきっかけとなっております。

それは本能寺の変です。

織田信長公「本能寺の変」の時、摂津（大阪）いた家康公が、急遽三河国（愛知）への帰国に際し、伊賀越え遁走したときに、西成郡大和田村網元の貝市孫左衛門一族と、伊勢国（三重）に出た家康公を海上海路で三州へ送り届けた伊勢国郷土連が、開幕時、家康公が命の恩人に報いるために、青果市場を神田に、魚市場を日本橋に創立しました。

青果は、慶長17年(1612年)、伊勢（三重）松坂より、徳川幕府御用商人として伊勢屋長兵衛が江戸に呼ばれ、幕府から神田多町（たちょう）に住居を与えられ、翌年秋「青物乾物類」商家郡肝煎役を仰せつかりました。

魚は、同年暮れに、貝市孫左衛門一族が、摂津国西成郡大和田村より入府して、佃島に住居に賜り、「魚介類」商家郡肝煎役を仰せつかりました。これによって、日本橋川に沿った日本橋本小田原町に魚介類問屋が開業し、俗に「日本橋、魚河岸」と呼ばれました。

「青物役所与力伝記」によれば、日本橋本小田原町に、魚河岸発祥より4年経過した元和2年(1616年)に、大和国（奈良）桜井出身の助五郎こと「魚商」魚助が、浦々の生簀に鯛等を囲い、武家屋敷、商家、料亭へ大量販売し、さらに漁場の仕入実権をおさえ、従来の貝市孫左衛門と競合しておりました。この解決のために、幕府は「魚問屋会所」を設けて、「会所」頭取役、副頭取、肝煎役制を採用しました。さらに、青物役所差配地内の「多町やっちゃ場」

にも、同じ制度を適用しました。この会所こそが現代の卸売市場の原型と言われている。

「多町青物市場」を開店した初代より、伊勢屋長兵衛は世襲制で、その名跡は、昭和の時代迄15代続き、商売仲間では、伊勢屋長兵衛を伊勢長といいました。即ち約400年にわたる青果市場の世襲セリ人がいたわけです。又、家康の伊賀加太峠越えは、伊賀の忍者で有名な服部半蔵の護衛で行われましたが、やっちゃ場の貼付と伊賀の忍者の貼付に類似性が認められていることから、半蔵と伊勢郷土連のつながりが分かるかと思えます。

数字の貼付で、声、手のサイン、記号の三種類があります。それぞれまだ使っている地域もありますが、人吉では過去手槍即ち手のサインのみでしたが、最近ではあまり使いませんが、まだ使っている人も若干います。

地方によって異なりなすが、代表して関東の貼付を言いますと

### 声

- 1=チョン、ピン、ソク、ヨロズ、オの字
  - 2=ブリ、リヤン、クの字
  - 3=ヤミ、ゲタ、サンタ、スの字
  - 4=ダリ、ヨツヤ、スの字
  - 5=メの字、ゴツトリ、ガレン、ウの字
- 等々全数字があります。

手槍…手を挙げて指で値段を示す

伊勢屋長兵衛家には「代々商売日誌」がありました。初代伊勢長が「多町青物市場」に開店した慶長17年11月9日以降、商いに関する日誌を代々の当主が書き続けることを家訓としていました。「代々商売日誌」は、御上（幕府、政府、青物役所）よりの布令、売買、相場においての思案、世情（社会）動向、天変地異に関する事柄を、かなり克明に記してあります。

## 紀伊国屋文左衛門の話

伊勢屋長兵衛家の「代々商売日誌」に紀文が出荷したみかんの取引が残されていますのでご紹介したいと思います。

元禄15年(1702年)師走の15日、昨夜来降り続いた雪も止み、江戸一面の銀世界の神田多町「幕府青物役所」差配地内、神田青物市場、九年母売場。九年母とは、みかんの一種で果面は粗く、果皮は厚く温習みかんより酸味が強く、品質はおとり、江戸時代はほとんど九年母に限られていました。ちなみに人吉連合青果にも約10年前までクネブと言って柑橘を出されている方がいらっしゃいました。

一昨日、紀州（和歌山）湯浅港と下津港より神田佐久間河岸に着船した、紀文の明神第一丸、明神第二丸が積送した「九年母」と「密柑」15日上場分（販売分）1500樽、1樽72リットルの4斗樽、3段重ねの3段目は天井ほど、長さは多町二丁目角より、連雀町、佐柄木町三ヶ町路上に展開し、約2町の約250メートルの日本一の路上「競り」、上積み3段目の2樽上蓋を開けて中身商品を見せ試食の下見行為が虎の刻朝4時頃から約2時間。伊勢長三代目が明け六つ卯の刻朝6時の開市の1刻（約2時間）前の買参人の下見に備えるために移動中、昌平橋角で幼友達のお城勤めの剃髪師、同朋衆の宗助から、「昨夜、吉良様へ赤穂浪士が討入り、本懐成就。老中、若年寄、重役御一同様総登城らしい。御三家の御注進は、早馬で出発されたが、紀州様は、三日前に湯浅港より海路で出府したが、海路は大暴風で、遠州灘より引き返した」と耳打ちされた。

#### 伊勢長三代目の相場判断

- ・今朝から江戸全域で始まる「夷講」「一つ目小僧祭り」用に九年母が必要
- ・御府内市場と東北、関八州の宿場商人からの年末年始用みかん「九年母」が通常の3倍の買い注文が来ている。
- ・江戸っ子は赤穂浅野様びいきで大喜び
- ・相模灘、遠州灘が暴風なら、紀伊、伊豆、相模から来るみかん船は、年末まで江戸に来ることは不可能。

以上の状況を総合すると今日の相場なんでも高い、右肩上がりの大相場で一世一代の大名競りになりそう。

明け六つ（午前6時頃）を機に、一番競りが、多町やっちゃ場ではじまる。「九年母」売場に、セリ人伊勢長三代目がセリ台に立つ。普段は各問屋毎に買出人と売り手が相対取引をするが、特殊もの、特殊商品は「青物問屋会所」西村頭取以下、役員と「青物役所」青木与力が立会で「競り取引」をする習慣。競りの方法は「移動競り」と「固定競り」があった。移動競りは商品を固定して売る方式で、買い手が見て回りながら、値をつける。固定競りは、買い手は動かず、商品を移動して売る方式である。この方法は平成の今日まで続いている。重量から見て、この日の競りは「移動競り」であった。

相州（神奈川）、小田原産（江ノ浦、湯ヶ原）の「九年母」は、前市市況で二斗樽平均樽当たり1両、4斗樽平均樽当たり1両3分。当時そば1杯16文、1両で4000文、1両で250杯のそば、現在そば一杯が300円とすれば1両7万5千円（1両50万との説もあります）。いずれにしても九年母は当時かなりの貴重品であったことが分かります。

買参仲卸、代買卸、地方納め商、総勢300人に対し、伊勢長三代目が競りを開始、「紀州有田糸俄物、15樽、1口売り、樽当たり値段だ」「マリ（人吉では使いませんが同値の事）は、10口までだよ」「樽当たり、幾ら、いくら一、いくら一」、記帳役の幸助が大福帳と、矢立の筆を構えた。山出し役（商品見本を買い手の商人に提示する役）の青梅出身伊三が1声怒鳴った「止め市、25日まで、お山は雪で、海は暴風だぞ。船は着かねえ一ぞ」

競り人伊勢長が一呼吸おいたところで、一斉に「手槍」が挙がった。多町市場水菓子問屋（果実仲卸商）、最大手の、「〇は」屋号の林屋甚五旦那が「一番槍」二両の買い手貼付。「樽まわしで二両、二両」と、二声出して場を見渡す。やっちゃ場の競り売りは、呼び貼付で「三声落札」が通常。

前日相場は、産地違いの相州（神奈川）だが、1両1分から2分。2両の単価に売り手も買い手も呆然。立会席にいた西村頭取、青木与力も、「げえー」の一言。

佐柄木町組「蔬菜果菜」問屋、万浅の昌平旦那が、さっと「二本並び」を振った。伊勢長「2両2分、2両2分」と呼ぶ。買い手の手槍が、一斉に振られる。伊勢長「ナラビのマリだ」（2両2分、同値）20数人の手がひらめく。相場は完全に尻りっぱねだ。ぼんぼんと4両までの直線高。

落札の事を「競り落とす」と言いますが、競り人がどのような状態の時に「競り落とす」のかですが、「15樽1口、同値10口まで」の設定なので、2両2分の時同値が20数人と言うことは、15樽×10口×20人=3000樽+一番手の人1口15樽=3015樽。即ち上場されている1500樽を超えています。よってこの状態では、伊勢長はまだ競り落とせないことが分かります。

現在の競り人も1番手の最高単価の数+同値の数の総和と上場数量を考えて、買い手と競りのやり取りを行い落札の判断をしています。

朝日が昇った半刻（1時間）が過ぎた頃、江戸一番の身代と言われる、深川材木商の奈良屋重左衛門のすぐ前方に、勝山村で釣宿を営む「秋山」の総領の時、商才を認められて、金看板の「萬や」を継ぎ、分家して「万弥」と称する、須田町問屋組合肝煎役で全国水菓子問屋の看板を出す房州（千葉）出身の奈良屋御用商の富三郎旦那がいた。

何かがぴかりと光った時、奈良屋と一言、二言交わした富三郎旦那が、手槍と口貼付を同時に振った。「5両。回しで、1000樽」マ

り値の出ない素っ高値。場内は騒然となった。  
伊勢長「5両、5両、5両」の三声。「1000  
樽。代で、5000両、5000両、5000両」  
「万弥」富三郎旦那の気合い勝ちで、残荷は  
6両、6両2分で完売であった。

15日「終わり市」の後、鳥越八百善で、紀文  
が慰労宴を開く。西村頭取以下多町問屋組合役  
員と、青物役所青木与力、競り人伊勢長三代  
目、市場関係連中五十名余りが参集した。

紀伊国屋文左衛門の紀州有田のみかん売上金  
は、二船分で、およそ9000両になった。有田川  
筋物、海草物、日高物で、仕入値は約4500両、  
廻送経費一切で500両とのことで、4000両利益  
であった。2000両は一つ目小僧祭り向けに各町  
内へ寄贈、宴はその後「八百善」借り切りで赤  
穂義士討入り本懐の祝いになった。「新橋より  
千住までの大火で、約5万戸の材木資材で、奈  
良茂、紀文で30万両の利益」「甲州街道筋下高  
井戸宿が縮小され、新宿が拡張された」等々の  
宴会話が残っております。

さて競り中のぴかりの意味が約150年後の伊  
勢長10代目になり判明します。秋の彼岸の入り  
に代々“伊勢屋長兵衛”追悼供養を菩提寺の谷  
中照山法光寺で行ってますが、安政3年(1856  
年)9月19日法要の後、帰途、明神下の料亭  
「開花楼」で会食の時、多町市場内で今の世で  
も語り草の元禄15年暮れの「奈良屋茂左衛門み  
かん買占め事件」裏話が話題になった。法要に  
出ていた「万弥」9代目庄太郎が伝記を整理し  
たところ、「万弥」初代富三郎旦那の大福帳に  
この件が記述されていたと言う。米、材木の相  
場師奈良屋は、常に天候情報、相場情報を人よ  
り早く知ることが利益になることを承知してい  
た。

「万弥」初代の伝記によれば、赤穂義士討入り  
の4年前、元禄11年(1698年)7月28日、永  
代橋が完成し渡り初めが済んだその足で、奈良  
屋と同道で、初代富三は京、大阪へ旅に出た。  
二人は吉原友達だった。大阪堂島の米取引会所  
に立ち寄り、頭取より教示されたのが通信術。  
故豊臣秀吉公が文禄元年(1592年)に派遣した  
御朱印船がルソンより持帰った反射鏡と望遠鏡  
を、堺商人に頼み量産させて、堂島会所がこれ  
を利用して米相場連絡用に使っていた。中国筋  
(広島、岡山)での買付は一刻を争うので、堂  
島会所から約百里離れた広島会所へ「レンズ反  
射光」を利用して通信している。ただしかなり  
の経費。曇りと雨天の日は蠟燭代だけでも大  
変。10里当たり5人前後が必要。紀伊潮岬と江  
戸では約150里。100人掛りの大勝負を元禄15年  
(1702年)に行った。反射光による信号は日光  
であった。大阪青物市場の貼付で、船出可能日  
より見て、江戸着船可能日の数字を信号する。

多町市場で光ったぴかりは26日の意味。即ち  
25日の止め市までにみかん船はない。」先祖  
供養で伊勢長3代目の謎がようやくとけた10  
代目でした。

世襲制は15代で終わりましたが、16代目が  
平成5年5月に、太田市場の卸売会社に就職  
し開設者(東京都)の競り人テストに合格  
し、東京大田市場の青果部競り人になってい  
ます。

卸売市場法は、大正12年3月に中央卸売市  
場法が制定されましたが、骨格が徳川家康の  
時に出来、競りの内容は約400年間世襲に  
よって引き継がれてきた日本の伝統だとい  
うことがお分かり頂けたと思います。

本日は、つたない話を最後までご清聴いた  
だきましてありがとうございます。

#### 【ニコニコ箱委員会】 委員長 永尾禎規

- ・安方会員 人吉新聞に紹介されました。今  
後も地域の発展の為に誠実に邁進して参り  
ます。宜しくお願い致します。
- ・延岡会長 ○米山セミナー、本田さん・石  
蔵さん・水野幹事さん、お世話になりました。  
明日はR財団セミナー、私と宮原委員  
長で参加してきます。○安方さん、1ヶ月  
遅れのロータリーの友紹介ありがとうございます。  
○内藤さん、卓話ありがとうございます。  
時代が変われど卸問屋、市場  
の流れは変わらないのですね。後で会報で  
ゆっくり勉強させていただきます。
- ・石蔵会員 9月14日をもって入会3年目を迎  
えました。いまだ新人のように頼りありま  
せんが、今後ご指導の程、宜しく願  
い致します。
- ・伊久美会員 先週、無届欠席をしました。
- ・丸尾会員 御誕生祝いありがとうございます  
ました。
- ・友永会員 貴重なご講演ありがとうございます  
ました。私は恩師からよく助言され  
たことがあります。「あなたの発表は  
内容がいいが早口のため聴衆によく理  
解されない」内藤会員にもアドバイ  
ス致します。

#### 【R財団委員会】

- ・延岡会長 同上

#### 【米山記念奨学委員会】

- ・伊久美会員 米山特別寄付をいたします。

- ・延岡会長 同上

点 鐘 延岡研一会長